

1932

1931

第 三 三 二 號

後決行  
後決行

關係書類 個に於て見當らざる見當り  
 ありて却るべき存此に定情し 秘外に  
 備 課

本件關係書類其平一ニ 貴課圖覽中ニ付一括シ  
 置キ用済返戻相成度  
 追テ返却不能ナルニ於テハ保管ノ旨配入相成  
 度  
 陸軍大臣官房

課 御 中

改書



陸支機密

參謀總長へ回答案

首題ノ件ニ付本月二十七日附參機第三六八號第一照會ノ趣具存ナシ

陸支機密第三八五號

昭和十三年十月廿九日

上 奏 案

第十五、第十七、第二十一、第二十二師團後方機關臨時編

成要價制定方施行ノ件

第十五、第十七、第二十一、第二十二師團後方機關臨時編成要價制定ノ件 尤裁相成候ニ付テハ別紙軍令案ノ通之カ施行ヲ命セラレ

度謹テ奏ス

十 三九

朕第十五、第十七、第二十一、第二十二師團後方機關臨時編成要價ヲ制定シ之カ施行ヲ命ス

御 名 御 璽

陸軍

昭和十三年 月 日

陸軍大臣

軍令陸甲第 號

(別紙ノ通)

軍令陸甲第七十三號

百廿三

第十五、第十七、第二十一、第二十二師團後方機關臨時編

成要領細則規定ノ件

關係陸軍諸部隊へ達案

第十五、第十七、第二十一、第二十二師團後方機關臨時編成要領細則別紙ノ通定ム

陸支機密第三九〇號  
陸支機密第四〇一號

昭和十三年十月廿九日



極秘

本協議用

七拾五部ノ内第貳百號

昭和十三年十月二十四日  
大本營陸軍參謀部第三課

第十五、第十七、第二十一、第二十二師團後方機關臨時編成要領

986T

決定案

部 隊			隊 數	編 制		編 成 管 理 官		
第十五	師團衛生隊	一		附表第一		留守第一師團長		
第十七	師團衛生隊	一				留守第四師團長		
第二十一	師團衛生隊	一				留守第八師團長		

如シ

第二條 本要領ニ據リ編成スヘキ部隊、隊數、編制及編成管理官左ノ

諸條規ヲ準用スルモノトス

本要領中特ニ規定セサル事項ニ關シテハ陸軍動員計畫令其ノ他關係

ノ臨時編成ニ關スル事項ヲ定ム

第一條 本要領ハ第十五、第十七、第二十一、第二十二師團後方機關

第十五、第十七、第二十一、第二十二師團後方機關臨時編成要領

考 備 派遣要領ニ示ス當該師團ノ編合ニ入ルモノトス 本表ノ部隊ハ夫々昭和十三年軍令陸甲第二十一號新設師團編成	第二十二師團衛生隊	一	昭和九年度陸軍動員計畫 令附錄附表第十三其一但シ 各野戰病院ニ獸醫務下士 官一名及第二野戰病院ニ 限リ同表備考(二)ノ人馬ヲ 増加配屬ス 清原茂	留守第十四師團長
	第十五師團第一、第二野戰病院	二		留守第一師團長
	第十七師團第一、第二野戰病院	二		留守第四師團長
	第二十一師團第一、第二野戰病院	二		留守第八師團長
	第二十二師團第一、第二野戰病院	二		留守第十四師團長
	第十五師團病馬廠	一		留守第七師團長
	第十七師團病馬廠	一		留守第十二師團長
	第二十一師團病馬廠	一		留守第八師團長
	第二十二師團病馬廠	一		留守第十四師團長
	附表第二			



第三條 前條部隊ハ本要領受領後速ニ編成ヲ完結スルモノトス

第四條 當分ノ内第十五、第十七、第二十一、第二十二師團ニ定員外

トシテ <sup>將校</sup> ~~廿~~ <sup>八百</sup> 名ヲ増加スルコトヲ得

<sup>前項人員ニ在郷者ヲ除ク</sup>

第五條 第二條ノ各部隊編成ノ爲所要ノ人馬及前條ノ人員ニハ編成管

理官隸下ノ人馬、陸軍大臣ノ特ニ配屬スル人員及在郷者、徵發（購

買）馬ヲ充用（當）シ已ムヲ得サレハ一時編制定員（數）ノ一部ヲ

缺クコトヲ得又過剩トナルモノハ一時編成管理官ノ指定スル部隊ノ

定員（數）外ト爲シ置クモノトス

第六條 編成管理官ハ豫メ本要領ニ據ル編成完結豫定月日ヲ又編成

完結セハ速ニ之ヲ陸軍大臣、參謀總長ニ報告シ且將校 <sup>准士官</sup> 職員表

ヲ含ム

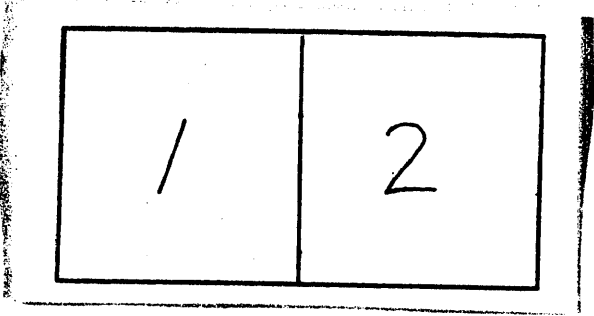

編成規程は一覽表及人員一覽表ヲ前請官ニ呈出スルモノトス

第七條 本要領實施ニ關スル細部ノ事項ハ陸軍大臣、參謀總長協議決定ス

附 則

本要領ニ據ル部隊ハ臨時編成部隊トス

# 分割撮影ターゲット

分割した 部分の撮 影順序	
分割撮影 した 理由	A 3判以上のため
<p>上記のとおり分割撮影したことを 証明する</p> <p>8 年 6 月 日</p> <p>主務者又は 撮影立会者 坂根嘉和 </p>	





表分區(車動自)馬輓			
種類	區分		
	馬診療自動車	裝蹄自動車	行李鞍馬
自動車	一	一	二
輓馬			六

階級	區分	人員		乘馬		輓馬	
		人	員	馬	輓馬		
獸醫少佐(大尉)	廠長	一		一			
獸醫尉	官	三		三			
准尉	尉	一					
下士官	官	一					
獸醫務下士官	官	五					
上等兵	計	二					
上等兵	計	四					
輜重兵上(三等兵)	計	三		一			
輜重兵下(三等兵)	計	五		四			
主計下士官	官	一					
衛生兵	兵	一					
馬取兵	兵	四					
合計	計	一	三	一	一	一	六
合計	計	四	八	五	一	六	六

備考  
 (一) 本表中兵科部ヲ指定セサル准士官下士官上(二)三等兵(自動車手ヲ除ク)  
 (二) 八乘馬兵科ノ者ヲ充ツルモノトス  
 (三) 上(二)等兵ノ内蹄鐵工兵ツクモ五名鞍工木工縫工裝工兵各一名ヲ含有ス  
 (四) 八自動車手トス  
 本表ノ外所要ノ人馬ヲ増加スルコトヲ得

附表第二

第十五第十七第二十一第二十二師團病馬廠編制表

本協議用

極秘

七拾五部ノ内第 三三號

昭和十三年十月二十四日  
大本營陸軍參謀部第三課

第十五、第十七、第二十一、第二十二師團後方機關臨時總成要領細則

1944

決定案

第十五、第十七、第二十一、第二十二師團後方機關臨時編成要領細則

第一條 本細則ハ第十五、第十七、第二十一、第二十二師團後方機關

臨時編成要領 以下要領 略稱ス 實施ニ關スル細部ノ事項ヲ規定スルモノトス

本細則中特ニ規定セサル事項ニ關シテハ陸軍動員計畫令細則其ノ他

關係諸條規ヲ準用スルモノトス

第二條 要領第五條ニ據リ陸軍大臣ノ特ニ配屬スル人員及其ノ差出區

分附表第一ノ如シ

第三條 要領第五條ニ據ル編成管理官隸下ノ人馬及在郷者ノ充用(當)

ニ關シテハ昭和十三年度動員計畫上 刺餘ノ人員 在營在郷ノ者ヲ含ミ 成ルヘク新年次ノ者

ト 及徵發(購買)馬匹ヲ充用(當)スルモノトス



但シ兵ニ在リテハ先ツ二ヶ月以上教育ヲ受ケタル在營中ノ補充兵ヲ  
充田シ又衛生兵ニ在リテハ陸軍病院編入中ノ新年次ノ者及昭和十三

年陸軍第二八六一號ニ依ル増加配屬人員ヲ充用スルモノトス  
軍醫要員ニハ現行隊中ノ軍醫要員採用決定者ヲ以テ充用スルモノトス  
軍醫要員ト爲シ置クコトヲ得

第四條 要領第四條ニ據ル増加人員區分附表第二ノ如シ

第五條 編成部隊ニ轉屬スル人員ノ個人裝備用戰用諸品 被服ニ在リテ  
ハ第七條ノ著

裝品ニ 限ル ハ差出部隊ニ於テ完備ノ上派遣スルモノトス

第六條 要領第二條ニ據ル部隊戰用諸品ノ定數ハ附表第三乃至第八ノ

如シ

第七條 各部隊下士官、兵ノ著裝被服ハ戰用諸品 兵器ヲ 定數表ノ季節外、  
除ク

軍靴一組ニ準シ戰用準備品ヲ使用スルモノトス

第八條 各部隊ノ戰用諸品ハ一時編成管理師團保管ノモノヲ充當シ其  
 ノ不足並充當セシ結果生セシ缺數兵器ニ在リテハ陸軍兵器本廠長ニ  
 其ノ他ニ在リテハ陸軍大臣ニ請求スルモノトス但シ各部隊所要ノ對  
 對百斯歌醫材料及病馬廠所要ノ獸醫材料、蹄鐵ハ編成地ニ於テ陸軍  
 衛生材料廠ヨリ交付ス

陸軍兵器本廠長ハ前項ノ兵器ヲ交付スルト共ニ其ノ品目、目數ヲ陸  
 軍大臣ニ報告スルモノトス

第九條 衛生隊及病馬廠ハ各人鐵帽及防毒面罩<sup>カ</sup>一ヲ増加發備シ其ノ  
 所<sup>カ</sup>目數ヲ陸軍大臣ニ請求スルモノトス

第十條 病馬廠ノ認識票文字刻入區分ハ當該師團番號ノ數字ノ下ニ

「病馬」ノ二字ヲ附スルモノトス

雜 則

一 編成ノ爲ノ輸送ニ關シテハ昭和十二年陸支察第一五六二號ノ規定ヲ適用スルモノトス

二 編成部隊附トナリ赴任又ハ派遣スル者ノ旅費ハ左ノ區分ニ依ルモノトス

ノ 單獨旅行ヲ爲ス者ニハ陸軍旅費規則第一表ノ竝旅費ヲ給シ陸伍旅行ヲ爲ス者ノ旅費ニ付テハ昭和十二年陸支普第九號第五條ヲ準用ス

2 准士官以上、營外居住下士官以下及軍屬ニハ赴任手當、移轉料及

## 家族移轉料ヲ給セス

3 前號ノ者配屬セラル、部隊ノ所在地ニ到着後單獨滞在スル場合ニ  
ハ該地到着ノ翌日ヨリ該地出發ノ前日迄滞在旅費ヲ給ス、其ノ定  
額ハ昭和十三年陸支普第八七七號ニ依ル

三 本編成ノ爲所要ノ經費ハ臨時軍事費支辨トス

附表第一

陸軍大臣特ニ配屬スル人員及同差出區分表

考	備	被配屬部隊		人員		差出區分
		配屬	人員	員	員	
		第十七師團衛生隊 第一第二野戰病院 及病馬廠	歩兵中(少)佐	1	1	別ニ達ス
			病馬廠長(少佐)	1	1	別ニ達ス
			軍醫尉官	5	5	臨時東京第一陸軍病院 衛生隊
			衛生下士官	4	4	留守第六師團
			療工下士官	10	10	關東軍
			衛生兵	100	100	留守第十師團
			歩兵中(少)佐	1	1	臨時東京第一陸軍病院
			病馬廠長(少佐)	1	1	留守第三師團
			軍醫尉官	4	4	別ニ達ス
			衛生下士官	10	10	留守第五師團
			療工下士官	10	10	留守第六師團
			衛生兵	100	100	留守第五師團
			歩兵中(少)佐	1	1	留守第六師團
			病馬廠長(少佐)	1	1	留守第六師團
			軍醫尉官	5	5	留守第六師團
		第二十一師團衛生隊 第一第二野戰病院 及病馬廠	歩兵中(少)佐	1	1	別ニ達ス
			衛生隊隊長(少佐)	1	1	別ニ達ス
			野戰病院隊長(少佐)	1	1	別ニ達ス
			病馬廠長(少佐)	1	1	別ニ達ス
			軍醫尉官	5	5	留守第九師團
			衛生下士官	10	10	留守第九師團
			療工下士官	10	10	留守第九師團
			衛生兵	100	100	留守第九師團
			歩兵中(少)佐	1	1	留守第九師團
			衛生隊隊長(少佐)	1	1	留守第九師團
			野戰病院隊長(少佐)	1	1	留守第九師團
			病馬廠長(少佐)	1	1	留守第九師團
			軍醫尉官	5	5	留守第九師團
			衛生下士官	10	10	留守第九師團
					第三師團衛生隊 第一第二野戰病院 及病馬廠	歩兵中(少)佐
衛生隊隊長(少佐)	1	1				別ニ達ス
野戰病院隊長(少佐)	1	1				別ニ達ス
病馬廠長(少佐)	1	1				別ニ達ス
軍醫尉官	5	5				留守第十一師團
衛生下士官	10	10				留守第十一師團
療工下士官	10	10				留守第十一師團
衛生兵	100	100				留守第十一師團
歩兵中(少)佐	1	1				留守第十一師團
衛生隊隊長(少佐)	1	1				留守第十一師團
野戰病院隊長(少佐)	1	1				留守第十一師團
病馬廠長(少佐)	1	1				留守第十一師團
軍醫尉官	5	5				留守第十一師團
衛生下士官	10	10				留守第十一師團
療工下士官	10	10				留守第十一師團

(一) 軍醫尉官三陸軍軍醫隊備員ヲ合シテトス  
 (二) 衛生下士官療工下士官ハ現役トシテ已ニ得テハ現ニ在隊中ニ豫備役者ヲ充ツル  
 (三) 衛生兵ハ陸軍病院編入中ノ新年次者及昭和十三年陸文意中二六六一號ニ依リ增加配屬人員ヲ充用スルモノトス



附表第三其一

諸部隊兵器表

品目	部隊		部		隊		小隊		衛生隊	
	部	隊	部	隊	部	隊	部	隊	部	隊
三十二年式軍刀乙			八							
三十年式銃剣			七							
三八年式騎銃			二							
三八年式携帶豫備品										
十四年式拳銃			六							
三八年式銃実包			六							
十四年式拳銃実包			二							
三八年式拳銃実包			六							
三八年式拳銃実包			二							
三十年式乘馬具			三							
刀附附刃器			七							
刺										
工器具携帶鞍工器具			一							
三九年式輜重車甲			二							
携帶燈			五							
輜重携行器具甲			一							
輜重			四							
繫馬具			三							
繫馬具			一							
三八年式輜重鞍馬具			二							
豫備			一							
考備			一							

三九式輜重車中一輛(屬品ハ油筒、油筒縛革、脂肪罐以外ヲ除ク)ハ衛生濾水機用ニ充當スルモノトス

附表第三其二

諸部隊兵器表

品目	部		備考
	隊	隊	
三十二年式軍刀乙			
三十年式銃劍			
三八年式騎銃			
三八年式携帶豫備品			
十四年式拳銃			
三八年式銃実包 <small>神彈子 各五共</small>			
十四年式拳銃実包			
竹枝 乘馬具			
三十年式乘馬具			
刀劍 附刃器			
職工具 携帶兼工具			
三九式輜重車甲			
携 帶 燈			
輜重携行器具甲			
輜重 繫馬 杭			
繫馬具 繫馬 索			
三八年式輜重鞍馬具			
豫備 木			

第十五、第十七、第二十一、第二十二師団野戰病院

一 本表ノ外自衛用トシテ小銃九同実包二七〇発ヲ増加備附ス  
 二 本表中十四年式拳銃同実包八二十六年式拳銃同実包ヲ以テ代用ス  
 ルコトヲ得  
 三 本表ノ外第二野戰病院ニ限リ三十年式銃劍四、三九式輜重車甲  
 四、三八年式輜重鞍馬具四ヲ備附ス  
 四 三九式輜重車中二輛（屬品ハ油筒、油筒縛革、脂  
 肪渣以外ヲ除ク）ハ衛生濾水機用ニ充當スルモノトス、



諸部隊兵器表

品目	部隊	
	第十五、第十七、第二十一、第二十二師団 因疾馬廠	
三十二年式軍刀乙		二
三十年式銃剣		四一
三十八式騎銃		五
三十八式携帶豫備品		一
十四年式拳銃		一
三十八式銃実包 <small>神彈子 銃実包</small>		一五〇
十四年式拳銃実包		三二
二十年式乘馬具		一
將校乘馬具		四
刀剣附刃器		一
威工具 <small>携帶換工具</small>		一
三十九式鞴重車甲		一六
携帶燈		一
鞴重		二
繫馬具		一
西頭籠		一
三十八式鞴重鞍馬具		二六
豫備鞍木		二
備考	一十四年式拳銃、同実包、八十六年式拳銃、同実包、 ヲ以テ代用スルコトヲ得	

附表第

給養器具定数表

考 備	病馬廠	野戰病院	衛生隊	部
				隊/品目
一、本定数八一隊ニ對スルモノトス	一	二	二	九七式布濾水器
	一	二	二	九七式沸水車
		二	三	野戰炊具

附表第五

考	備	病馬廠	野戰病院	衛生隊	部	
					品	隊目
一本表、外各部隊將校以下各人一箇宛 第二野戰病院ニ本表、外野戰エツクス放線器械一組ヲ携行スルモノトス			一	一	隊醫一	隊醫一
			三〇	九五	担架	担架
			同シ	同シ	軍醫携帶	軍醫携帶
			六	六	療養	療養
			同シ	同シ	衛生隊	衛生隊
			二	一	野戰野戰	野戰野戰
			四	二	野戰野戰	野戰野戰
			四	二	野戰野戰	野戰野戰
			一		顯微鏡	顯微鏡
			四		患者用食器	患者用食器
			二	一	手術用天幕	手術用天幕
			二	一	九式衛生機	九式衛生機
			一	一	隊醫斯瓦	隊醫斯瓦
				一	衛生隊斯瓦	衛生隊斯瓦
			二		病院斯瓦	病院斯瓦
			二	一	自動呼吸器	自動呼吸器
			二	一	酸素呼吸器	酸素呼吸器
			六	三	酸素吸入器	酸素吸入器
			六〇	三〇	傷者用防毒面	傷者用防毒面
			同シ	同シ	瓦斯治	瓦斯治
		六	六	療養	療養	
		同シ	同シ	患者	患者	
		同シ	同シ	車	車	

衛生材料定數表

附表第六

獸醫材料定數表

考	備	病馬廠	野戰病院	衛生隊	部隊		
					品目		
一、本表ノ外病馬廠ニ檢疫獸醫級第一號一具、同第二號一具、獸醫級一具、馬診療 自動車、裝蹄自動車各一臺、獸醫材料箱五個容積ノ藥物消耗品豫備蹄 鉄(尋常)二。裝 <small>氷上蹄鉄ニ在リテハ其ニ 十五分ノ十二ヲ標準トス</small> ヲ推乃行スルモノトス		四	一	一	甲 獸醫行 李 具	乙 獸醫行 李 具	
		四			獸醫持家 具	馬 療 臺	
			同シ	獸醫部持 杖ノ人員ニ 同シ	獸醫部下 官ノ人員ニ 同シ	野 戰 蹄 鉄 具	蹄 鉄 工 具
		四	一	蹄鉄工兵ノ 人員ニ同シ		蹄 鉄 工 具	蹄 鉄 工 具
			四			化 兵 獸 醫 行 李 具	化 兵 獸 醫 行 李 具
				同シ	獸醫部持 杖ノ人員ニ 同シ	甲 具	乙 具
				同シ	獸醫部下 官ノ人員ニ 同シ	甲 具	乙 具
						化 兵 獸 醫 行 李 具	化 兵 獸 醫 行 李 具
						化 兵 獸 醫 行 李 具	化 兵 獸 醫 行 李 具
						化 兵 獸 醫 行 李 具	化 兵 獸 醫 行 李 具

京都府衛生課						部	隊	留用 42
車輜 小隊	橋 甲隊	本 部						
—	—	検査 下官	業務 副官	軍医 副官	主計 副官	—	—	計 4
—						—	—	留用 4
—						—	—	計 1
—						—	—	留用 5
		和歌山 支隊	京都府 支隊	京都府 支隊	京都府 支隊	部	隊	留用 5
		主計 下士官	—	獣医 下士官	主計 副官	—	—	計 5
		—	—	—	—	—	—	留用 8
		—	—	—	—	—	—	計 1
		—	—	—	—	—	—	留用 6
		—	—	—	—	—	—	計 9

所表第七

公用所定数表

附表第八

戰時諸條規諸勤務令推行區分表

種別	衛生隊				野戰病院				病馬廠			
	一	二	三	四	一	二	三	四	一	二	三	四
蠟重隊勤務令												
戰時兵器部勤務令												
戰時經理部勤務令												
戰時衛生部勤務令		二										
戰時獸醫部勤務令							四					
戰時補充令												
戰時野戰彈藥補給令												
軍兵站勤務令												
鐵道輸送諸部勤務令												
船舶輸送諸部勤務令												

備考

一 本表、外各部隊ハ必要ニ應シ陸軍成規類陸軍電信符號及戰時必要ナル諸條規ヲ奉行スルモノトス  
 二 本表ニ示ス名稱ニシテ勤務令ノ制(改)定ニ依リ其ノ名稱ニ差異ヲ生スルトハ新  
 三 本勤務令、名稱ニ依リト改定ニ伴ヒ制(改)定セラルハ之ヲ制(改)定ニ當該  
 四 相當ノ現行勤務令ヲ採用スルモノトス

196T

<p>連帶課</p> <p>各局課</p> <p>参考ノ爲他ノ連帶課名ヲ記入スルモノト</p>	<p>決裁指定</p> <p>連帶印 局長</p> <p>代 課長</p> <p>連帶還付期限</p> <p>至 急 迄</p>	<p>件名</p> <p>第十五、第十七、第二十、第二十二師團後方機関臨時 編成要領、同細則、件</p>	<p>補任</p> <p>御中</p> <p>整備課</p>	<p>連帶票</p> <p>十月廿六日</p>
-------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------	--------------------------------	-------------------------





1961

連 帶 課  各 局 課	参考ノ爲他ノ連帶課名ヲ記入スルモノトス 長 局 長 課 代 切 系 急 迄	決裁指定	件 第十五、第十七、第二十、第二十二師團後方機関臨時 編成要領、同細則ノ件	徵募 御中 整 備 課	連 帶 票 十月廿六日
		連帶印			





1962



連帶課	決裁指定	件名		
各局課	連帶印 局長	第十五、第十七、第二十一、第二十三師團後方機關臨時編成要領、同細則ノ件	軍事 軍務 御中	連帶票
參考ノ爲他ノ連帶課名ヲ記入スルモノトス	課長		整備課	十月廿六日
	連帶還付期限			

連帶課	決裁指定	件名	兵務 防備 馬政 御中	連帶票
各局課 <small>參考ノ爲他ノ連帶課名ヲ記入スルモノ</small>	連帶局 印長 	第十五、第十七、第二十一、第二十二師團後方機関臨時 編成要領、同細則ノ件	整備課 	十月廿六日
	課長 	連帶還付期限		
	至 急 			

1964

連帶票		御中		十月廿六日	
各局課		整備課			
参考ノ爲他ノ連帶課名ヲ記入スルモノトス 各局課		連帶 局長	課長 	連帶還付期限 	件名 第十五、第十七、第二十、第二十二師團後方機関臨時 編成要領、同細則ノ件
連帶		決裁指定			

196T

連帶課 各局課	参考ノ爲他ノ連帶課名ヲ記入スルモノトス  長課	決裁指定	件名 第十五、第十七、第二十一、第二十二師團後方機関臨時編成要領、同細則ノ件	銃砲 機械	御中	十月廿六日 整備課
		連帶局 				

996T

連帶課 各局課	決裁指定	連帶票 十月廿六日	主計 監査 衣糧 建築	御中	整備課
	連帶還付期限				
参考ノ爲他ノ連帶課名ヲ記入スルモノトス	連帶印 長				
	課長				
	日迄				



496T

連帶課 各局課	決裁指定		件名 第十五、第十七、第二十一、第二十二師團後方機關臨時編成要領、同細則ノ件	衛生 警事	連帶票	御中	整備課	十月廿六日
	印帶連	局長						
	課長	連帶還付期限						

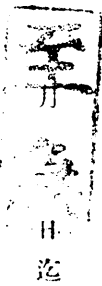
参考ノ爲他ノ連帶課名ヲ記入スルモノトス

至急

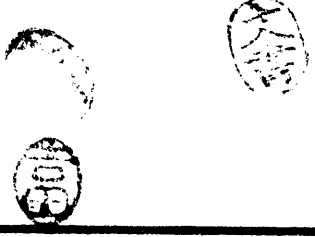
896T

連帶課 各局課	決裁指定	件名 第十五、第十七、第二十、第二十二師團後方機關臨時 編成要領、同細則ノ件	連帶票 御中 整備課	十月廿六日	
	連帶印 局長				連帶還付期限
	課長				連帶還付期限

參考ノ爲他ノ連帶課名ヲ記入スルモノトス



696T



陸軍部 陸軍大臣 陸軍部 陸軍部 陸軍部

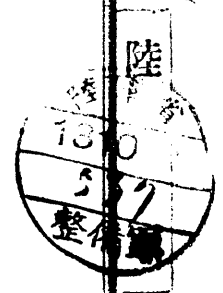
陸軍部 陸軍部 陸軍部 陸軍部

第十五、第十七、第二十一、第二十二師團後方機關臨時編成  
要領制定御裁可ノ件通牒

昭和拾參年拾月廿九日 參謀總長 載仁親

陸軍大臣 板垣征四郎殿

首題ノ件別紙ノ通御裁可アリシニ付通牒ス  
追テ御裁可書ハ用濟後返戻アリ度



陸支機密第三九三號

昭和十三年十月卅一日

日本標準規格 B-5



026T

秘

陸軍省  
第三三號  
大

井

陸軍省  
1311  
33  
陸軍省

一 參 編 第 五 八 號

臨時編成部隊編成完結豫定日ノ件報告

昭和十三年十一月二日 滿洲派遣留守第一師團長 藤井洋

陸軍大臣板垣征四郎

十月二十九日軍令陸甲第七十三號ニヨリ當師團編成管理ニ屬スル左  
記部隊ノ編成完結豫定日左記ノ通報告ス

左 記

部 隊	編成完結豫定日
第十五師團 衛生 隊	十一月十三日
第十五師團第一、第二野戰病院	

1971

閣

陸軍部 第三四二番 第六

第一六號

電報譯

十一月九日 午前六時

五分著

陸軍部 副官宛

發信者 陸軍部 參謀長

十月二十九日 陸軍部 密電 第三九〇番 當軍  
未受領ニ付 發送月日至急ニ知致ス

多利二三六番 官ヨリ 陸軍部 參謀長 返電  
十月三十一日 陸軍部 發送 第三九〇番

十月七日



陸軍

陸軍電信著信紙 1927

注意

受付當日受領セシモノハ月日ヲ記入セス  
 受付時刻ノ表示中「セ」トアルハ午前「コ」トアルハ午後ヲ示ス

局著 二一 通信番号 午後 受信時刻 二一 時 五分 扶手 オ 著信番號 一六	局發 陸軍省 四七 字 タイホク 二〇〇六 二一〇時七分	受信氏名 リクブン セウフクカン	指定 ウナ 事記	本 タイフクニニ三六、一〇ツキニ九ヒヘリテカ三九〇トエウミアレニアサハクムカヘスハシカ ルンタエヒ	文
--------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------	------------------------	----------------	---------------------------------------------------------	---



1973

常務

後援第二四二番其三

秘電報

弘動第一〇二五號

大臣 宛  
總長

留守第八師團長

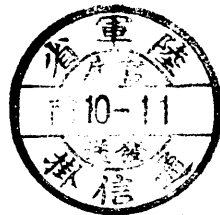
軍令陸甲第七三號ニ依ル編成部隊ノ編成

完結ハ十一月十七日ノ豫定ナリ

(終)



昭和三十一年十一月五日  
一、四、三、二、一、著



支城二四三三

四

13.11.5  
後午  
官臣

標

1371.7  
537  
整備課

陸

秘電報譯

二月五日  
午前午後  
一時三時  
四分五分  
分著發

軍官  
后4-5  
送信

大 臣宛 發信者 留守第七師團長  
動北第四七〇號

十月二十九日軍令陸甲第七三號ニ依ル當師  
團管理第十五師團病馬廠ノ編成完結  
豫定日八十一月十三日トス

陸

留参勤第二一二六號

當師團管理臨時編成部隊並增加人員編成（整備）完  
結豫定月日ノ件報告

昭和十五年十一月五日 留守第十四師團長 笠井平十郎

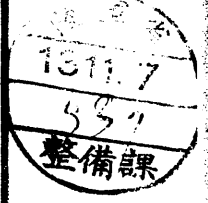
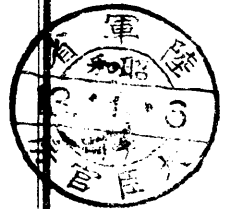
# 陸軍大臣 陸軍省 陸軍第四部 陸軍大臣 陸軍省 陸軍第四部 陸軍大臣 陸軍省 陸軍第四部

十月二十九日軍令陸甲第七三號同陸支機密第三九〇號ニ據ル當師團  
管理ノ臨時編成部隊並增加人員ノ編成（整備）完結豫定月日左記ノ  
通報告ス

記

第二十二師團衛生隊

十一月十六日



陸

軍

926T

第二十二師團第一第二野戦病院

十一月十九日

馬 病 馬 廠

十一月十六日

増 加 人 員

十一月十七日

常務

支隊三四二七



昭和

一三、一、七

校電報

一一、六

一三、五、五  
三五、五、著

參編第六九號

大臣宛

第十二師團長

軍令陸甲第七三號第十七師團病馬廠

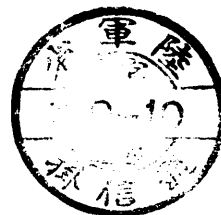
八輜重兵第十八聯隊留弁隊編成擔任十

一月十五日編成完結、豫定

終

226T

9





826T

軍事機密

陸軍省 陸軍部 第四師團編成第三〇一號

第十七師團後方機關部隊編成完結月日ノ件報告

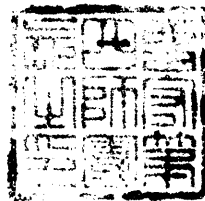
昭和十三年十一月五日 留守第四師團長 熊谷 敬

陸軍大臣 杉山 元 殿

昭和十三年軍令陸甲第七十三號第六條ニ依ル首題ノ件左記ノ通ニ付報告ス

左記

第十七師團		編成部隊	豫定編成完結月日
第一、第二野戰病院	衛生隊		十一月十九日
			十一月二十日



(大阪 上野橋)

626T

支隊令一三四二九

常務

秘電報

勤北第五一二號

大臣宛

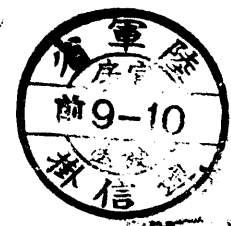
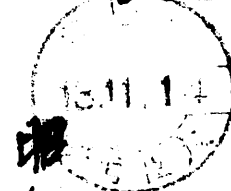
第七師團參謀長

十月二十九日軍令陸甲第七三號ニ依ル

當師團管理第十五師團病馬廠

十一月十三日編成完結セルニ付報告ス

(終)



一、一三、一五、五、一四、一六、四五、着

準備

軍令部 陸軍部 陸軍省 陸軍大臣 陸軍部 陸軍省 陸軍部 陸軍省

一 參編第七一號

編成完結ノ件報告

昭和十三年十一月十四日

滿洲派遣留守第一師團長 藤井洋治

# 陸軍大臣板垣征四郎殿

十月二十九日軍令陸甲第七十三號ニ據ル當師團管理ニ關スル左記  
部隊八十一月十三日其ノ編成ヲ完結セシニ付報告ス

左記

第十五師團衛生隊

同 第二野戰病院

陸軍省 昭和十三年十一月十四日 陸軍大臣 藤井洋治

軍

1981

常務

支機三四三三三

至急

秘電報 二一五五五五發

號外

大臣宛

留守第十二師團長

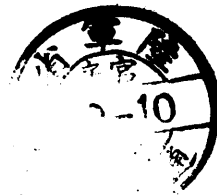
參編第六四三號、十七病馬廠  
十一月十五日編成完結ス

(終)



昭和三十三年十一月六日

53



1982

常務

文庫二四二番



秘電報

弘動第一〇六九號

火臣宛  
總長

留守第八師團長

第二十六師團後方機關部隊ハ十月十七日

編成完結ス

(終)

昭和一三、二、一八

一一、一七、一九、五三、  
二〇、五三、著



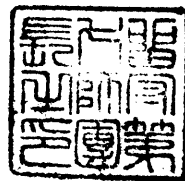
勅北五一三號

臨時編成部隊ノ編成完結ニ關スル件報告

昭和十三年十一月十五日

留守第七師團長 酒 井 篤 次

陸軍大臣 板 垣 征四郎 殿



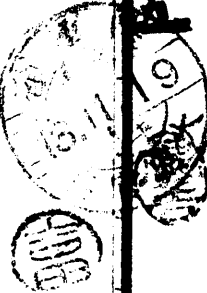
十月二十九日軍令陸甲第七三號ニ據ル臨時編成部隊ノ編成完結ニ關シ左記ノ通報告ス

左 記

- 一、留守第七師團管理 將校 准士官 職員表
- 一、臨時編成部隊
- 一、留守第七師團管理臨時編成部隊完結日一覽表
- 一、留守第七師團管理臨時編成部隊人員一覽表
- 一、同 過剩人員一覽表



陸軍省 陸 一三四二...



陸



常務

1984

支那軍 二二四二六



昭和二三、一一、二〇

二、一九、一九、二五 發  
王、〇五 著

秘電報

留參動第三六五號

大臣宛

留守第十七師團長

十月二十九日軍令陸甲第七三號ニ依リ

當師團管區第一、第二野戰病院ハ本

十九日編成ヲ完結セリ

(終)



587

1985

整備

軍令部  
文庫  
第二四二  
二七  
陸軍

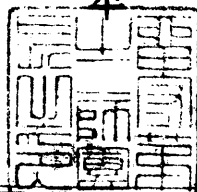
留守第十二  
師團司令部  
參編第六六一號

臨時編成部隊完結日一覽表、將校職員表、人馬一覽表  
提出ノ件報告

昭和十三年十一月十九日  
留守第十二師團長 長 瀬 武 平

陸軍大臣 板 垣 征 四 郎 殿

首題ノ件別紙ノ通り報告ス



(日本標準規格) B-5



軍事機密 第一二四二番 共一

一 參功第五一七號

臨時編成部隊將校職員表竝ニ人馬一覽表  
提出ノ件

昭和十三年十一月十九日 滿洲派遣留守第一師團長 藤井 洋

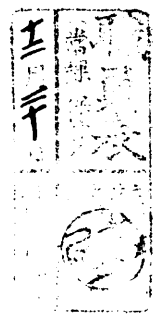
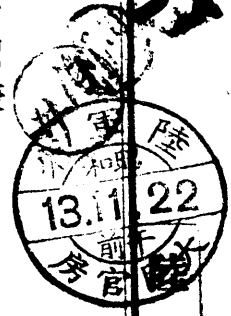
陸軍大臣板垣征四郎殿

昭和十三年十月二十九日軍令陸甲第七十三號ニ據リ當師團編成管理

ニ係ル首題ノ件別表ノ通提出ス

補任

986T



286T

陸軍機密 支隊二四二師其一九

留多動第二二八二號

將校職員、完結日一覽表人馬一覽表提出ノ件

昭和十三年十一月二十一日

留守第十四師團長

笠井平十

# 陸軍大臣 永垣征四郎殿

十月二十九日軍令陸甲第七十三號同陸支機密第三九〇號ニ據ル當師團管理ノ臨時編成部隊竝增加人員ノ將校職員表、完結日一覽表及人馬一覽表左記ノ通提出ス

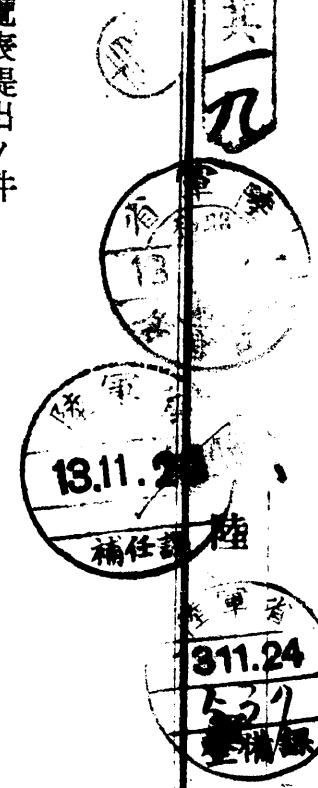
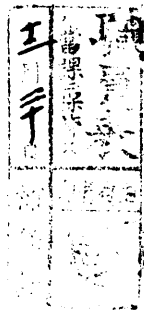
記

將校職員表

編成（整備）完結日一覽表

人馬一覽表

各三部



補任

886T

弘動第一〇九三號

臨時編成部隊ニ關スル書類呈出ノ件報告

昭和十三年十一月二十一日 留守第八師團長 淺川 一 衛

陸軍大臣 板垣 征四郎 殿

第二十一師團後方機關部隊ノ將校職員表、人馬一覽表並編成完結日一覽表別紙ノ通ニ付第十五、第十七、第二十一、第二十二師團後方機關臨時編成要領第六條ニ據リ呈出ス

五ノ千〇

陸軍大臣 板垣 征四郎 殿

13.11.24  
537  
整備課

陸軍大臣 板垣 征四郎 殿

13.11.26  
補任課

陸軍

1989

南仕

軍事機密文様二四三九

留四師參勤第一三九四號

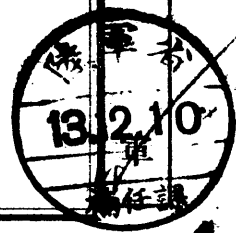
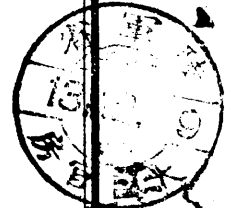
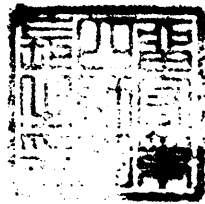
第十七師團後方機關將夜檢員表呈出ノ件報告

昭和十三年十二月七日

留守第四師團長 熊谷 敬

陸軍大臣 近衛 征四郎 殿

軍令陸中第七十三號後方機關臨時編成要領第六條ニ基ク首題ノ件  
別表ノ通報告ス



(B列五號)

066T

軍務校第

一二四二二二二

第四師團編成三四一號

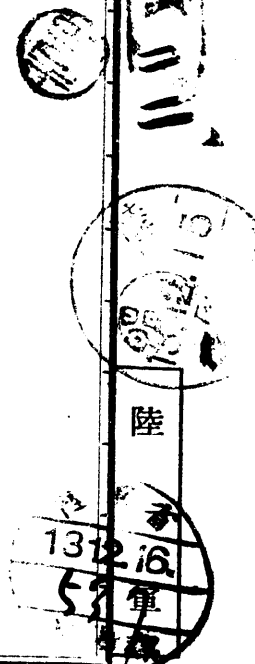
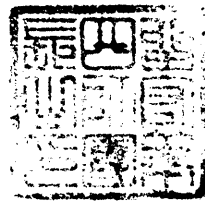
第十七師團後方機關人馬並編成完結日一覽表  
提出ノ件報告

昭和十三年十二月十三日

留守第四師團長 熊谷 敬

# 陸軍大臣板垣征四郎殿

昭和十三年軍令陸甲第七十三號第十五、第十七、第二十一、第二十二師團後方機關臨時編成要領第六條ニ依ル首題ノ件別紙目錄ノ通提出ス



(B列五號)

1991

提 出 目 録

留守第四師團

一 第十七師團後方機關人馬一覽表



一 部

二 臨時編成部隊編成完結日一覽表



一 部

陸 軍

(B 列五號)

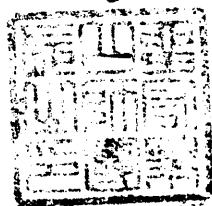
軍事機密

留四師臨編第三四二號

第四百四師團兵器勤務隊人員並動員  
完結日一覽表提出ノ件報告

昭和十三年十二月十三日 留守第四師團長 熊谷 敬

陸軍大臣板垣征四郎殿



昭和十三年軍令陸甲第五十八號師團兵器勤務隊臨時動員要領第  
六條ニ依ル首題ノ件別紙目錄ノ通提出ス

陸軍

(B列五號)

提 出 目 録

留守第四師團

一 第四百四師團兵器勤務隊人員一覽表

一 部

二 臨時動員部隊完結日一覽表

一 部

陸 軍

(B 列五號)